

お寄せいただいたご意見について

UNITED conference of JEF supporters (犬協)

代表：青木 盛晃

前回(1月27日)にまたとない機会を与えていただいたにもかかわらず、諸事情により代表の私が欠席してしまったことを、各団体代表の皆様へ深くお詫び申し上げます。

当日代理出席したスタッフが持ち帰ったご意見につきまして、本日は犬協を代表していくつかご説明させていただきます。

Q. 犬協の目指す協議会とはどのようなものなのか？

前回配布した資料で述べましたが、最初は従来のサポミを会議室に持ち込むような形式でスタートするようにし、回数を重ねる中で徐々に質疑応答の時間を長くしたり、団体側からの提案をサポーターに問いかけてみたりということを実行していければと思います。

現状、一般サポーターと団体間では見えない壁が生じています。これはどちらかが作ったのではなく、互いの理解度不足により自然に発生したものです。

私たちの目指す協議会では、各団体代表の皆様と一般サポーターが直接向き合って話し合うことで、そういった壁を少しでも取り払えればと考えております。

Q. 具体的にどういった形式で行うのか？

まずは根本的にゴール裏団体そのものを知らない人がいます。これは臨海の時と違い、フクアリや代表効果で新たに足を運ぶようになったサポーターの増加によるものです。また既存のサポーターでも、情報不足や偏見からくる疑念や不信が募り、憶測や誤解を生み、そこからいわれのない誹謗・中傷が発生するという悪循環も見られます。

そこで初回は各団体の活動や考え方、スタイルなどを明確に説明していただきます。

今更と思われるかもしれませんが、新規サポーターには理解の手がかりとして、既存のサポーターには再確認の場としても必要だと考えます。

(当日用意する配布物にも載せますが、皆様が直接言葉で発するメッセージのほうがより伝わり、説得力を持つと考えます)

その後で今度はゴール裏全体としての応援の流れ、役割分担などの説明(コールリーダーって誰？何ソレ？という方もいました)、残った時間で質疑応答と持っていければと思います。

なお、最後の質疑応答に関しましては、まずアンケートなどで集計した意見を事前に各団体の皆様にお渡しし、それに対する回答をその場で公表していただく形になります。(当日紛糾しないためにも、重要な質

間に関してはこの方法をとるのがベストかと)

その後参加している一般サポーターからのご意見・質問などを聞き、その場で回答できる内容ならば対応、それ以外の、一存では決められない内容の場合は団体お持ち帰りとして、次回までに回答を用意するという形にすれば大きな混乱は避けられます。

もちろん、質疑応答の前には『問題点の指摘だけでなく、その改善案も含めた建設的な意見でお願いします。』ということ念押しし、一般サポーター側にも冷静な対応を求めています。

開催の頻度に関しましては、年に2～3回で十分かと見ております。お持ち帰りの質問などは通常の試合前サポミで発表できますし、あまり回数が多くても議題不足で実のないものになってしまう恐れがあります。質問などは我々犬協が事前・事後の窓口となることで当日までに各団体の皆様にお届けできますし、事後の確認はブログ・フリーペーパーなどで広く告知していく予定です。

(万が一なにか重要な問題が起こった際には緊急開催することも考慮します)

Q. インターネットの情報に左右されすぎではないか？

我々犬協の発足が『2ちゃんねる』の国内サッカー板からというのは、ほとんどの方がご存知かと思えます。そういった身の上、当然のご意見だと真摯に受け止めております。

私個人の意見としましては、現在のインターネット上の社会はなんら特別なものではなく、むしろ現実の延長線上にあると考えております。そこには現実と同じように表も裏も存在し、真実と虚実が同居しています。そういった情報の氾濫の中から取捨選択し、正しい情報と知識を導き出すことが、今を生きる私たちに求められている社会適応能力だと思います。

人と人との関係が疎遠となり、角が立つことや面倒を避けて本音を言いにくくなった昨今、どれだけの人間が面と向かって意見を述べられるのでしょうか。そういった人たちの本音を知るためにも、インターネット上の情報は軽視できないと考えております。

勿論、その全てを肯定するわけではありません。中でも罵詈雑言や誹謗中傷が飛び交う『2ちゃんねる』においては一層の警戒と疑惑の目を持ち続けておりますし、私自身、正確な情報を知るために直接クラブへ電話したり、現地に赴くこともあります。『百聞は一見にしかず』というように、実際自分で確認した情報が一番正しいことは重々承知しております。

ただ、そんな混沌とした世界の中で、今こうして信用にたる仲間を得られたこともまた事実です。

犬協スタッフ一同、頂いたご忠告を肝に銘じ、今後も情報の取捨選択に細心の注意を払っていきたくと思っております。

Q. 協議会を行う意味、利点はどこにあるのか？

この協議会を開く意味は団体・一般双方の『理解』と目的意識の『共有』にあります。

『こういう応援するから、皆ついてきて』という従来の上意下達スタイルに対し、新規・既存関係なく一般サポーターから不満が出ています。『知らないところで知らないうちに決ってしまった』物事と感じ、それが応援に一体感を感じない・壁を感じる要因ともなっているようです。

そこでまずは団体側からオープンにアプローチを行い、質問や意見に誠実に答えることで、相互理解を深めると同時に一般サポーター側には『応援活動に参加している』という実感を持たせ、自発的な応援参加を促すことが出来ます。(そういう点で、『団体から一般サポーターに対する提案』という行為はより大きな効果があると考えられます)

互いがある程度理解し、共感を持つことが出来れば、応援という目的意識の『共有』も今より容易になるのではないのでしょうか。

すばらしいスタジアムと有望な選手を抱え、JEFサポーターは確実に増えてきています。一方で、かつての低迷期や臨海競技場を知らない世代も多くなりました。

JEFというチームの今後を応援で支えていくためにも、団体・一般にかかわらずサポーター一人一人の意識改革が必要だと、私たち犬協は考えております。

追記：

近々大規模なオンラインアンケートを実施し、寄せられたデータを具体的な数値として皆様にお届けする予定です。(混乱を避けるため、サポコミ終了まで開始を控えておりました)

近日中に告知いたしますので、よろしければご協力をお願いいたします。

////////////////////////////////////

『UNITED conference of JEF supporters』(犬協)

代 表：青木 盛晃

ブログ：<http://blog.inukyo.info/> (アドレス変わりました。現在移行期間中です)

メール：jef_conference@hotmail.co.jp

////////////////////////////////////